

## 分野:総合病態診療学

主科目 副科目	東洋医学 Japanese herbal medicine	DM_1505	区分	選択必修	授業形態	演習 (講義・実習含む)
------------	----------------------------------	---------	----	------	------	-----------------

担当	教授	准教授	講師	助教	客員教授・その他
板橋	◎ 下川 智樹			内山 雅照	新見 正則 (客員教授)
-					
-					

	東洋医学Ⅰ (1年次)				東洋医学Ⅱ (2年次)				東洋医学Ⅲ (3年次)			
	単位	4単位	配当年次	1年・通年	単位	4単位	配当年次	2年・通年	単位	4単位	配当年次	3年・通年
概 要	保険適用エキス剤148種類を全て覚えます。構成生薬や歴史的な位置、そして過去の使用方法、現在の使用方法です。				生薬から煎じ薬を作ることを学びます。傷寒論、金匱要略、類従方講義、勿誤薬室方函口訣、万病回春は必読です。				漢方をサイエンスします。自分でアイデアが浮かべばそれを行って下さい。浮かばないひとはマウスの心臓移植モデルに漢方薬を投与して、その機序を解析します。			
到達目標	保険適用漢方エキス剤に精通できれば合格です。				過去の有名な煎じ薬はすべて覚えましょう。また生薬の目利きができるようになります。漢方学的な診察も必須です。				漢方をサイエンス的思考で理解できるようになります。また、煎じ薬を処方する自費診療が自信を持って行えるようになります。			
事前事後学修	漢方に馴れること 次回の授業範囲を予習し、専門用語等の意味を理解しておくこと。1回の授業に対して、予習・復習それぞれ30分程度が必要である。				煎じ薬が作れるように 次回の授業範囲を予習し、専門用語等の意味を理解しておくこと。1回の授業に対して、予習・復習それぞれ30分程度が必要である。				漢方の古典を暗唱できる。 次回の授業範囲を予習し、専門用語等の意味を理解しておくこと。1回の授業に対して、予習・復習それぞれ30分程度が必要である。			
評価方法	148処方すべて覚えていること。 講義・演習・実習の課題 40% 毎週の実験報告とdiscussion 30% 毎月の進捗報告時の口頭試問 30%				煎じ薬の起原、構成生薬、歴史的用法、現代での有効性が答えられること。 講義・演習・実習の課題 40% 毎週の実験報告とdiscussion 30% 毎月の進捗報告時の口頭試問 30%				古典を人に解説できることが必須です。 講義・演習・実習の課題 40% 毎週の実験報告とdiscussion 30% 毎月の進捗報告時の口頭試問 30%			

## ■主な演習(講義・実習含む)

	東洋医学Ⅰ (1年次)	東洋医学Ⅱ (2年次)	東洋医学Ⅲ (3年次)
板橋	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :
	モダン・カンボウ入門	煎じ薬入門	傷寒論総論
	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :
-	鉄則モダン・カンボウ	生薬学入門	勿誤薬室方函口訣総論
	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :
	モダン・カンボウの法則	漢方診療総論	万病回春総論
-	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :
	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :
	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :
-	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :
	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :
	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :

## 教科書・参考書

講義内で紹介

## その他履修上の注意事項

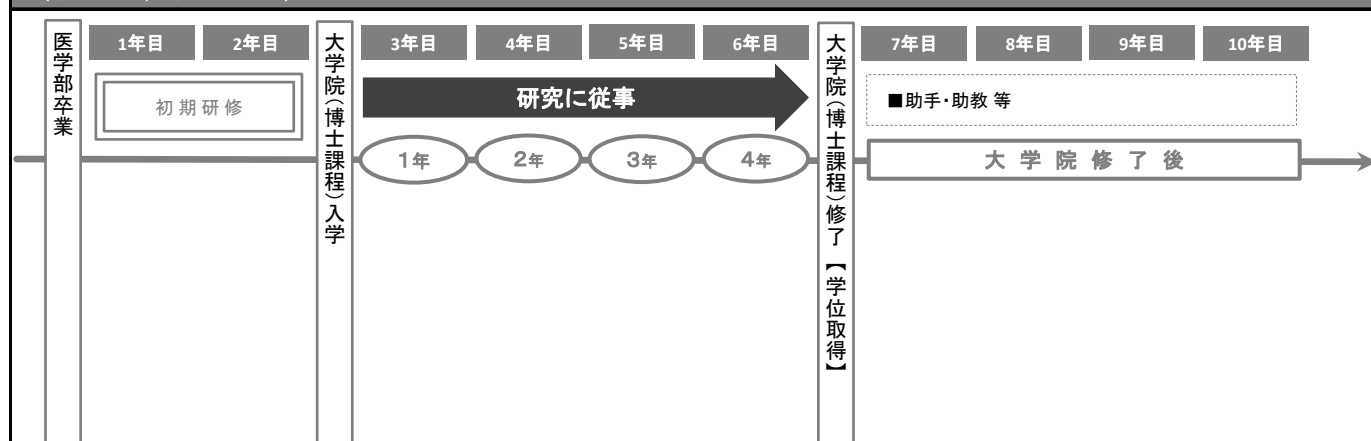
講義・実習・演習の詳細については個別に案内します。  
試験やレポート等に対し、講義の中での解説等のフィードバックを行う。  
この科目と学位授与方針との関連をカリキュラムマップを参照し理解すること。

関連科目	副科目	特になし
	共通科目	特になし

## 関連する専門医資格

東洋医学会専門医 (無理に取得する必要はありません)

## キャリアパス(モデルコース)



※社会人枠のキャリアパスについては各講座にお問い合わせください。